



ありがとう70周年



2012年度 通期決算概要



2013年4月25日
日野自動車株式会社
代表取締役社長
白井 芳夫

写真：弊社ハイブリッド車のラインナップ（2013年3月26日“累計販売台数 1万台を突破”を発表）

左から、大型観光バス「日野セレガ ハイブリッド」、大型路線バス「日野ブルーリボンシティ ハイブリッド」、中型トラック「日野レンジャー ハイブリッド」、小型トラック「日野デュトロ ハイブリッド」



将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公表の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公表してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。



報告内容

1. 2012年度の実績
2. 現在および今後の環境認識
3. 2013年度の見通し
4. トピックス紹介(中計進捗)



1. 2012年度の実績

- ・国内：底堅い需要、小型トラックの拡販等により想定より上ブレ。
大中小型トラック 40年連続シェアNo.1を達成※。
- ・海外：タイ、インドネシアを中心に、堅調な内需に支えられ販売台数増。

※年度ベース、当社調べ

下表*付は過去最高

<販売の状況>

(単位:千台)

	12年度	11年度	増減	増減率
日本	43.7	36.9	+ 6.8	+ 18.4%
海外	*111.0	91.6	+ 19.4	+ 21.2%
グローバル	*154.7	128.5	+ 26.2	+ 20.4%
トヨタ車	185.8	153.3	+ 32.5	+ 21.2%

<売上・損益の状況>

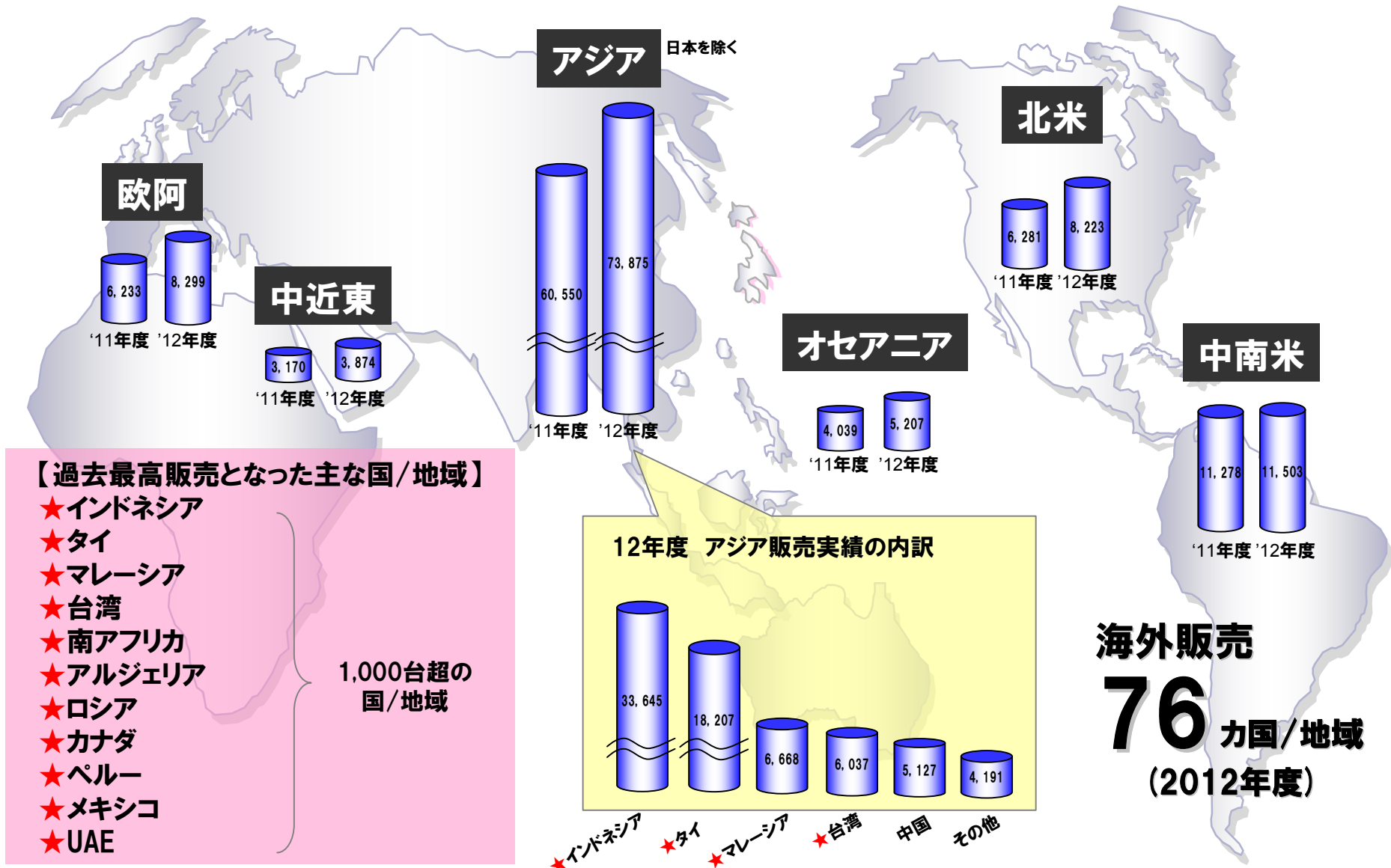
(単位:億円)

	12年度	11年度	増減	増減率
売上高	*15,414	13,146	+ 2,268	+ 17.3%
営業利益	*651	375	+ 276	+ 73.5%
当期純利益	*477	163	+ 314	2.9倍
配当金(1株当たり)	*23円	8円	+ 15円	2.9倍



参考： 海外販売の状況

12年度はすべての市場で販売を拡大。



海外販売
76 国/地域
(2012年度)



2. 現在および今後の環境認識

- ・アベノミクスの進行： 財政支出拡大・金融緩和推進
⇒ 今後は“異次元の金融緩和”に加え、『成長戦略』に注目
- ・世界経済の不透明さは継続（欧州、中国）
- ・基盤市場であるASEANに欧州勢も参戦し、大競争時代に突入

日野の対応

- ・環境変化に柔軟に対応すべく、アクセルとブレーキを適切に使い分け
- ・成長を図りつつ、構造改革と体質改善を引続き着実に推進

目指す姿

環境変化に強い会社を実現



3. 2013年度の見通し

- ・国内：需要は12年度実績同等と見るが、小トラ中心に拡販し、販売台数微増。
- ・海外：需要は一部地域で足踏み状態と見るが、為替を追い風に販売台数増。

<販売の状況>

(単位:千台)

	13年度	12年度	増減	増減率
日本	44.6	43.7	+ 0.9	+ 2.1%
海外	130.0	111.0	+ 19.0	+ 17.1%
グローバル	174.6	154.7	+ 19.9	+ 12.9%
トヨタ車	172.0	185.8	▲13.8	▲ 7.4%

<売上・損益の状況>

為替前提: 90円/US\$

(単位:億円)

	13年度	12年度	増減	増減率
売上高	16,200	15,414	+ 786	+ 5.1%
営業利益	850	651	+ 199	+ 30.5%
当期純利益	600	477	+ 123	+ 25.8%
配当金(1株当たり)	30円	23円	+ 7円	+ 30.4%

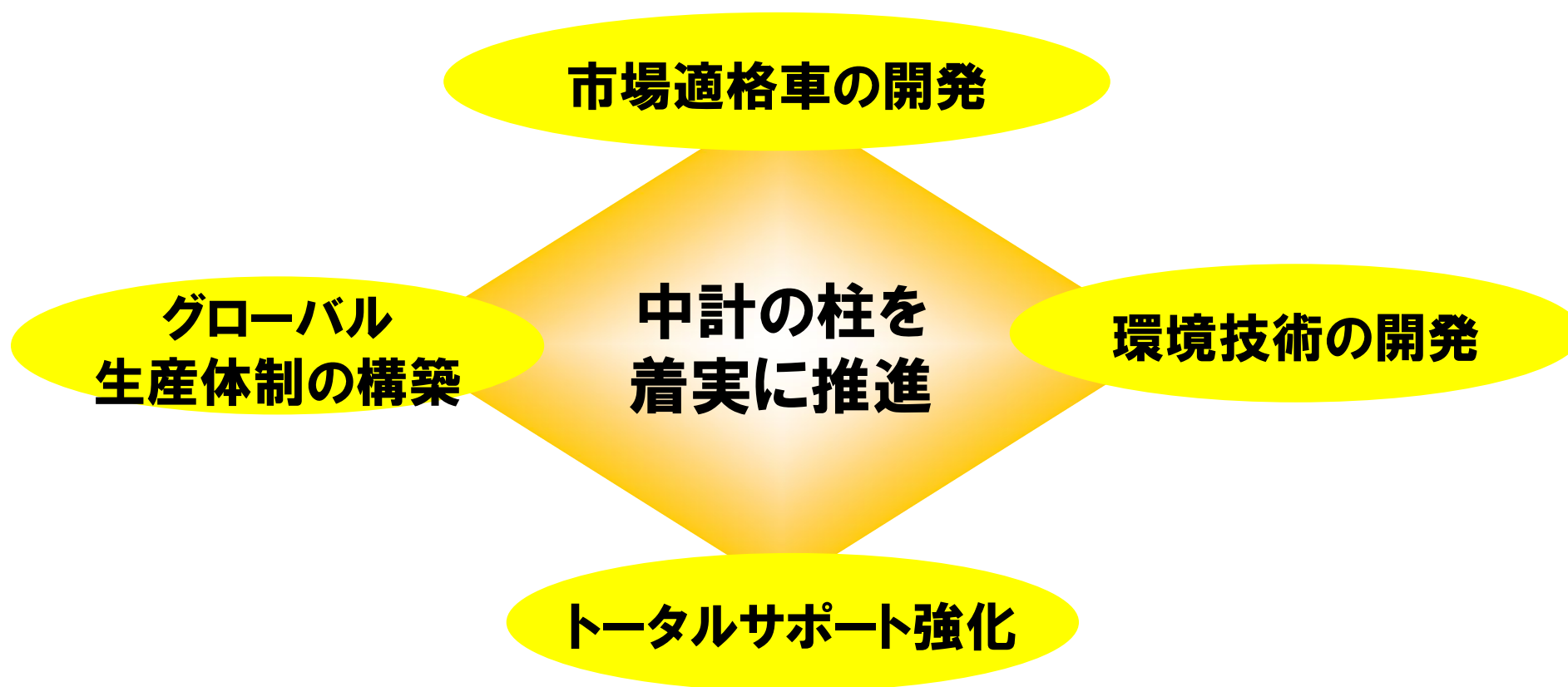


4. トピックス紹介(中計進捗)

1) 中計概要

中計(12年4月に公表、12~14年度):

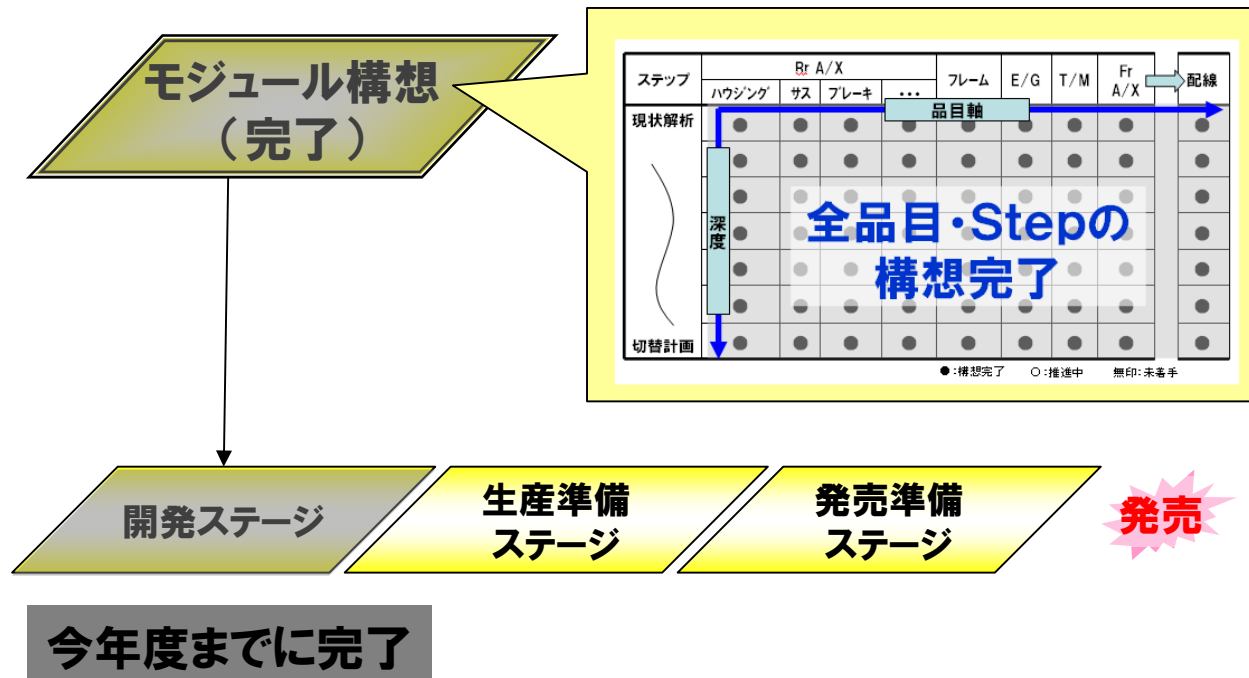
- ・海外に軸足を置いた成長戦略
- ・変化する経営環境の中でも高収益をあげるための構造改革・体質改善



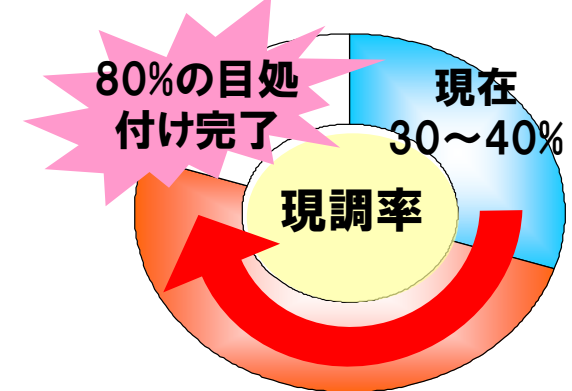
4. トピックス紹介(中計進捗)

2) 市場適格車の開発: モジュール化の推進状況

- ・着実に推進中 (コア部品/周辺部品の整理等、構想段階は完了)
- ・徹底した現調化も推進中 ⇒ リードタイム短縮・原価低減
- ・お客様のニーズに迅速に対応



海外向け現行車



13年度は開発ステージから いよいよ生産準備へ



4. トピックス紹介(中計進捗)

3) グローバル生産体制構築: 推進日程

12年度は計画通りに推進。13年度も引き続き着実に進める。

	考え方・位置づけ	推進日程		
		'12	'13	'14 ~
古河工場	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大中型車両工場 ➢ KD輸出基地 	KD拠点 予定通り5月立上げ、 出荷国拡大中		車両組立 アクスルモジュール
新田工場	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ユニット工場 		● 拡張用地の予約契約 立上げにむけて 計画通り準備推進中	デフセンター 大型エンジン 機械加工・組立
インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新興国向け 小型トラック*の生産拠点 *市場適格モデル 		小型エンジン 機械加工 予定通り11月立上げ	小型エンジン 機械加工能増 アクスルモジュール(小型)
タイ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ アセアン域内の 中型トラックの 中核生産拠点 			大中型エンジン 機械加工

4. トピックス紹介(中計進捗)

3) グローバル生産体制構築: 工程再編(古河・新田)

古河工場: KD工場稼働開始

考え方

- 大中型車両工場
- KD輸出基地

役割

- モジュール化による大中型完成車の組立
- アクスル・プロペラシャフトの組立
- KD梱包拠点

- 12年5月からタイ向け、
10月からインドネシア向けKD出荷開始。
- 13年度半ば以降 アクスル工場着工を予定。



新田工場: 工程集約のため拡張

考え方

- ユニット工場

役割

- エンジン、トランスミッション、デフキャリアの一貫生産(鋳造・機械加工・熱処理)
- 内製粗型材の海外への供給拠点

- デフセンターは、
14年度前半の稼働開始予定。
(大型エンジン工場は15年度以降の稼働を検討中)



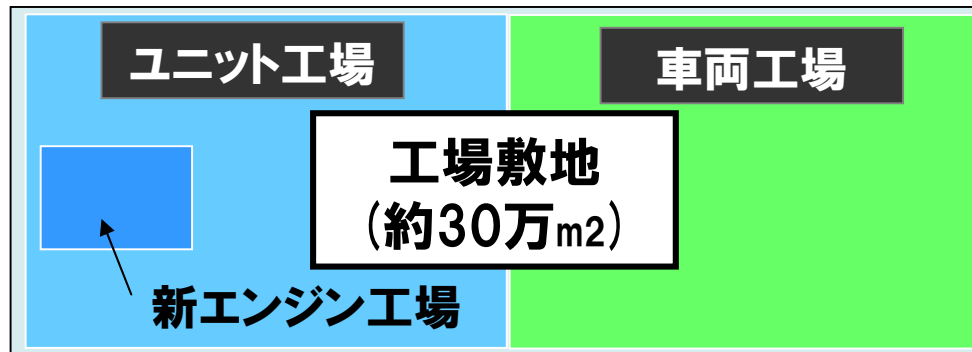


4. トピックス紹介(中計進捗)

3) グローバル生産体制構築: インドネシア

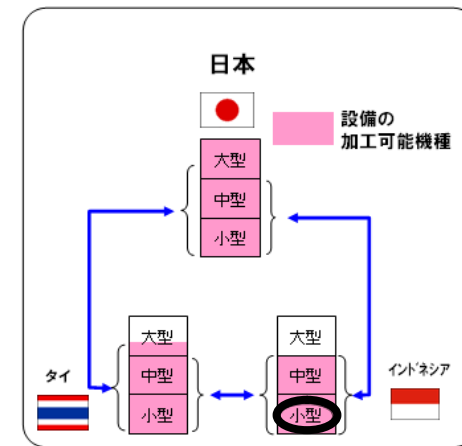
・エンジン機械加工工程 稼動開始

12年11月 新工場完成、小型エンジン部品の機械加工を開始(新田工場とのブリッジ)

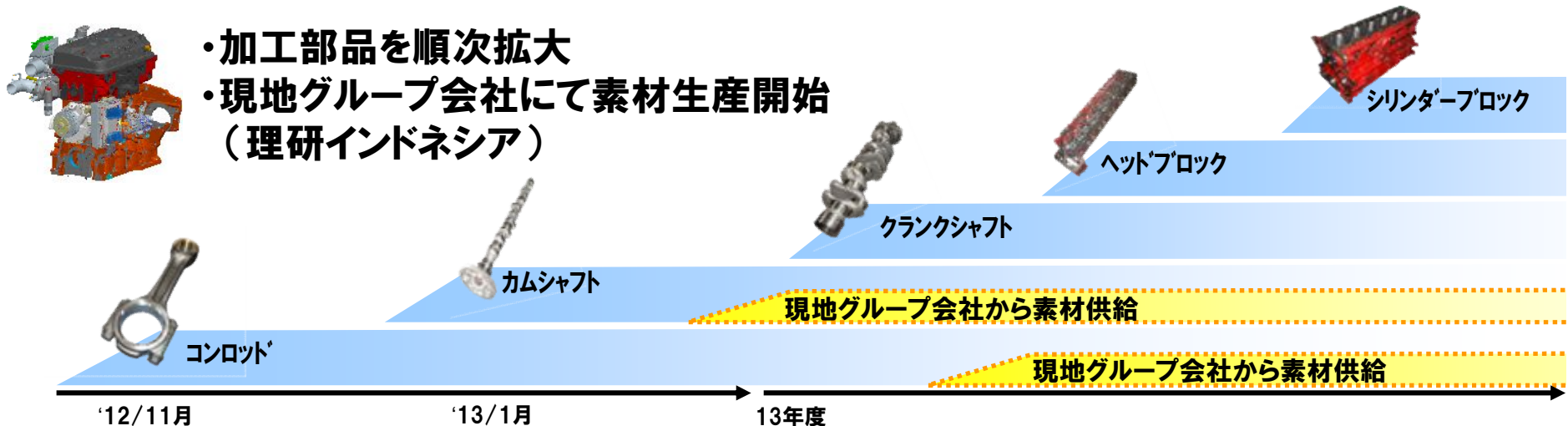


【構想】

量の変動とリスクヘッジ 対応



- ・加工部品を順次拡大
- ・現地グループ会社にて素材生産開始 (理研インドネシア)



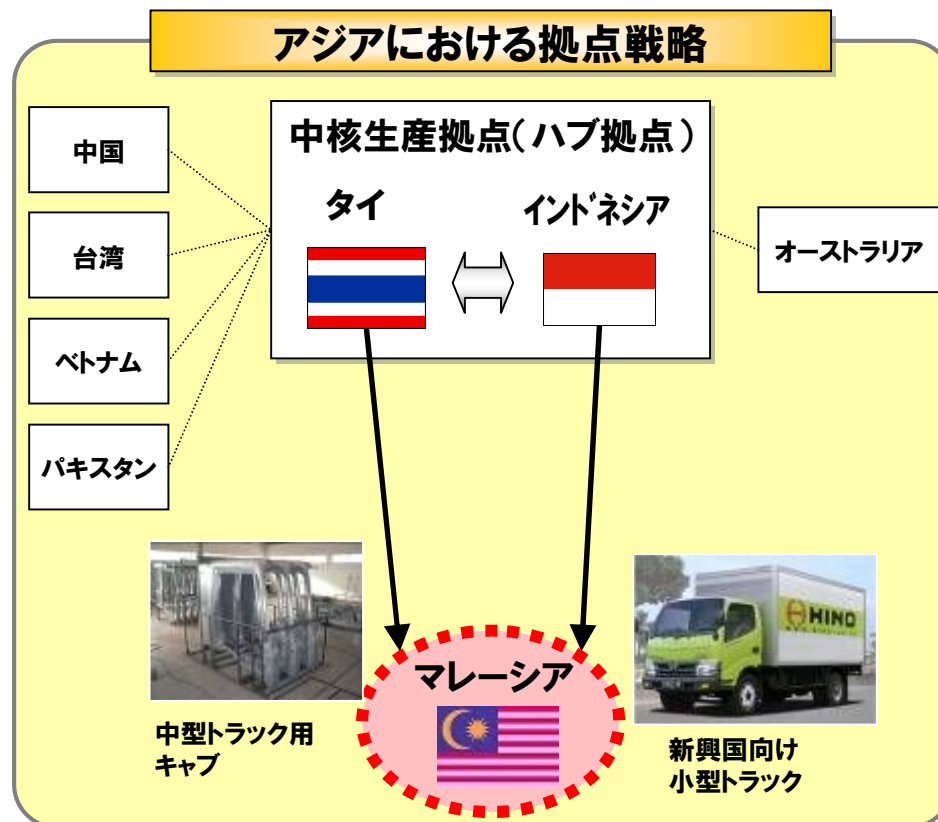


4. トピックス紹介(中計進捗)

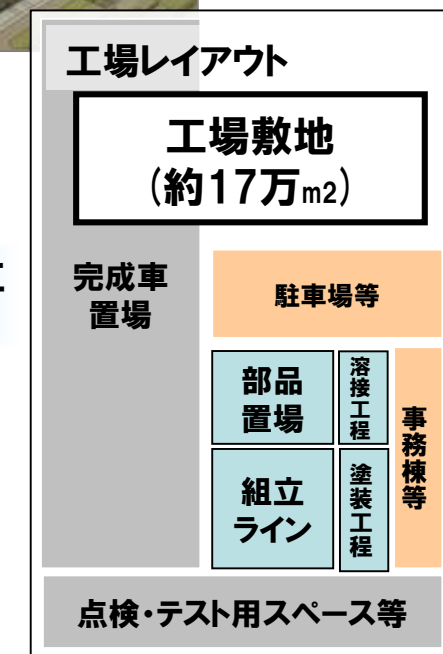
3) グローバル生産体制構築: マレーシア

・製造子会社を設立、生産を主体化(従来外部委託)

- ・インドネシア、タイに次ぐ、「第3の柱」に成長
⇒ 供給力確保・市場ニーズに柔軟対応
- ・地域中核拠点を軸に域内生産体制を強化



製造子会社設立
(工場建設)



- ・2014年前半 生産開始予定
- ・生産能力:約1万台/年 (2直稼動時)



4. トピックス紹介(中計進捗)

4) トータルサポート強化:

お客様へのTS強化を通じて、バリューチェーンを着実に拡大



4. トピックス紹介(中計進捗)

5) 技術開発: 環境技術

- HV技術を軸に、高まる環境ニーズに対応。
- 商用車の特性／用途に合わせて、最適な車両を提案。





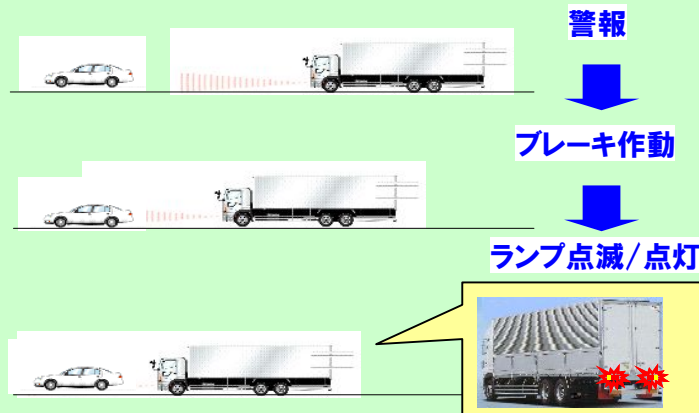
4. トピックス紹介(中計進捗)

5) 技術開発: 安全技術

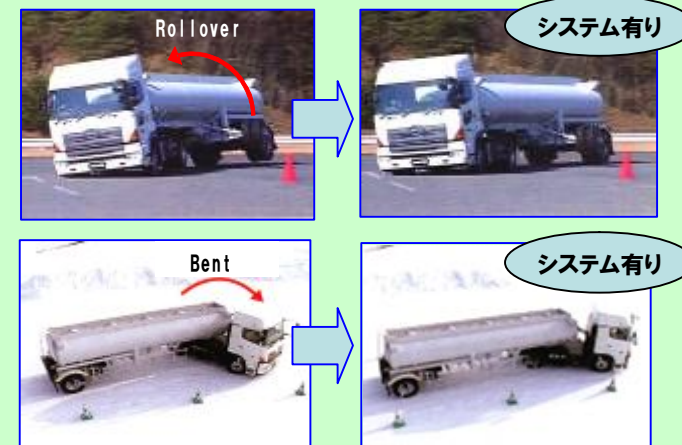
- ・商用車メーカーとして、「事故ゼロ」の安全社会に向けて安全装備の普及促進
- ・継続的な交通事故の調査・分析、お客様の声 ⇒ 必要な技術を他社に先駆けて開発



被害軽減、事故回避(PCS*)



横転防止、車両安定性向上(VSC*)



・2006年2月発売

←PCS商用車導入は世界初

・2010年7月より標準装備 (PCS:大型トラック・大型観光バス、VSC:大型トラック)

*VSC、PCS: トヨタ自動車(株)の登録商標。 VSC:ビークル・スタビリティ・コントロール、 PCS:プリクラッシュ・セーフティ。



2013年度 日野グループスローガン

HINO

世界中のお客様のために

HINO

The Global Brand
For All Customers!